

北九州市民の会ニュース

北九州社保協第20回総会と 國師洋典さん講演会

5月23日（土）に健和会複合施設2階の地域交流スペースで北九州社保協の総会と國師洋典さんの講演会が行われました。

総会では2014年度における総括と今後の方針、会計が報告されました。

その後、國師洋典さんの講演会が行われました。國師さんは、大分で「一般財団法人 自立生活サポートセンター こんぱす」の事務局長を行っており、多くの人の支援をしてきており、様々な人たちの事例を紹介しながら、多くの困っている人たちが社会保障を得ることができていないという現状を話していただきました。

実際に支援してきた人たちの話だけに、リアリティがあり、社会保障がまだまだ十分に困っている人たちの支援できていないということを痛感しました。居場所がない、つながりがない、孤独であるということを改善させることが必要です。どんな人でも、生活困窮者になりうるということを改めて感じ、社会保障の充実はより進めていくべき問題であると実感しました。



【社保協総会の総会の様子】

若松革新懇で バスツアーに取り組みました

さわやかな5月の一日、若松革新懇では「自由民権と日中友好の歴史を訪ねる旅—宮崎兄弟、滔天・民蔵と孫文の友情」と題して、熊本県荒尾市にある宮崎兄弟資料館と三池炭鉱万田坑に行きました。20名の参加で新しく会員も迎えました。

宮崎兄弟資料館では、こんな田舎の地から明治政府の専制政治に立ち向かい自由と平等、平和を求め正義と気概を持って生き抜いた人たちがいたことに感銘を受けました。

三池炭鉱万田坑は日本の近代化遺産の一つとして世界文化遺産に登録予定ですが、ヘルメットをかぶって中まで見学することができ、過酷な労働や爆発事故のこと、エネルギー政策の転換で翻弄されたであろう人々などに思いを馳せながらガイドさんの話を聞きました。バスの中では楽しく交流もでき、「戦争法案」廃案、6・7原発再稼働反対3万人集会成功のため頑張ろうと意思を固めました。

2015. 5. 28 若松革新懇事務局 三輪幸子



【炭鉱を見学している様子】